



自分たちで製作した鬼のお面を付けて「豆まき」をしました。(園庭で元気に) NO.1



節分にちなんで、2日(木)に全園児による「豆まき」を行いました。

10時になり、クラスごと園庭に集合しました。それぞれが頭に自分たちで製作した「鬼のお面」を付け、園舎東側のベランダに座って待っています。全学年も集合すると、「公演に行きましょう」の曲が流れ、体操の時のようにクラスごとに並びます。いよいよ始まりです。



進行役の亜沙美先生と一緒に「朝のご挨拶」と、いつものように「5つのお約束」をみんなで言いました。次に、亜沙美先生から「今日は豆まきをします」という始まりの言葉があり、次に園長先生のお話がありました。「みんなの心の中にある『意地悪をする鬼』『すぐ泣いてしまう弱虫の鬼』『すぐに怒ってしまう怒りん坊の鬼』などを追い出しましょう」というような話がありました。「節分」と「豆まき」については、「季節の分かれ目：節分」は邪気が入りやすく、特に旧暦では立春のころは当時の新年の始まりだったため、最も大切な節目とされ、そこで「鬼を追い払う邪気祓いの行事」として「豆まき」が始まったのだそうです。



いよいよクラスごとの「豆まき」の始まりです。子ども達が先生と一緒に準備を始めました。(子どもたちの頭には色とりどりの「鬼のお面」がつけられ、また首からは「豆入れ」が下げられました。3学期に入り、今日のために各クラスで製作したものです。)

年少組のお面は、「玉子のパック」に花紙を丸めて入れ、目はマジックで描き入れました。角は、子ども達がハサミを使って切りました。豆入れは、色画用紙でコップを折り、黒と茶の折り紙を細長く破ってノリで貼りました。みんなで楽しくできた「お面の製作活動」。出来上がった作品を見て、大喜びの子ども達でした。



年中組のお面は、まず色画用紙にクレヨンで顔を描き、絵の具で色を塗って「はじき絵」にしました。驚いたのは、「自分たちで水の入れ具合を調節して適切な濃度になるように薄めることができた」ことです。今までの「絵の具遊び」などの活動の成果が発揮されていると感じました(スゴイね)。髪の毛は毛糸を貼り付けました。豆入れは「鬼の金棒」をイメージして、「男の子が銀、女の子が金」の折り紙を貼り付けました。材料は、大きめの紙コップとトイレットペーパーの芯を利用しました。個性豊かなお面と豆入れ。お友だちの作品を見て「スゴイ！」と喜び合う姿がとても素敵でした。

